

発 言 通 告 書

令和 7 年 2 月 28 日

松山市議会議員 原 俊 司 殿

松山市議会議員 山 本 智 紀

次のとおり通告します。

発言順位	1 0	受領日時	2 月 28 日 午前 9 時 45 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式			発言時間 約 50 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者			

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	本市 20 年の振り返り	(1) 統計から見た本市の農業の変化について ①本市が取り組む農業支援事業について ②愛媛県試第 28 号について、2005 年と比較した本市の生産状況及びまつやま農林水産物ブランドの取組について (2) 若者の地元企業への雇用創出や定着支援に関し、本市がこれまで実施した主な施策について実績等を踏まえ具体的に問う。 また、若者のさらなる定着に向けた今後の取組及び施策について問う。 (3) 本市がこれまで実施した公共交通施策をどのように評価しているのか。 また、今後の持続可能な公共交通の確保に向けた取組と、交通空白及び不便地域の解消に向けた計画についてそれぞれ具体的に問う。 (4) 本市がこれまで実施した道路整備による渋滞緩和効果をどのように検証・評価しているのか。 また、今後さらなる渋滞緩和策としてどのような取組を行う予定か問う。 (5) 本市の 20 年間の市場変化は若者のトレンドであった商業施設の閉館や周辺都市の郊外型商業施設増加、インターネット通販の需要拡大等により、銀天街や大街道など中央商店街の空洞化が著しくなっているが、これまでの中央商店街の活性化施策がどれほどの効果を上げたと評価しているのか。 また、今後のさらなる空洞化を防ぐためにどのような戦略を講じるのか具体的に問う。 (6) 子育て支援策の評価と今後について ①他の中核市と比較して、本市が優れている取組と今後の拡充予定について ②財源確保について

[illegible]